

中 学 部

(1) 中学部の教育目標

- ① 丈夫な体と豊かな心を育てる。
- ② 基本的な生活習慣の形成を図る。
- ③ 集団生活を通して、社会生活に必要な基本的能力と態度を育成する。
- ④ 働く楽しみを知り、ねばり強く働く態度を育てる。

めざす生徒像

・場に応じたあいさつができる	・自分のことは自分でできる
・助け合い協力する	・意欲をもって活動する

(2) 教育課程の編成方針

- ① 本校の教育課程の編成方針に基づき、生徒の実態に即して教育内容を精選し、弾力的に編成する。
- ② 生徒の実態に応じて、Ⅰ～Ⅳ類型の4つの教育課程を編成する。
- ③ Ⅰ類型は、中学校の当該学年に準じた教育内容を主として編成（Ⅰ類型－1）し、障害の状態により当該学年の学習が部分的に難しい生徒は、下学年の教育内容を一部取り入れて編成（Ⅰ類型－2）する。
- ④ Ⅱ類型は、生徒の実態や発達段階に即して、教科別、領域別、各教科等を合わせた指導を適切に配当し編成する。教科別の教科内容に比重を置いて学習する類型（Ⅱ類型－1）、各教科と各教科等を合わせた指導に比重を置いて学習する類型（Ⅱ類型－2）、各教科等を併せた指導及び自立活動の指導に比重を置いて学習する類型（Ⅱ類型－3）の3つの類型で編成する。
- ⑤ Ⅲ類型は、生徒の実態や発達段階に即して、各教科等を合わせた指導や自立活動を適切に配当し編成する。
- ⑥ Ⅳ類型（訪問教育）は、生徒の実態や発達段階に即して、原則として、日常生活の指導及び自立活動を適切に配当し編成する。

(3) 各教科、各領域の指導の重点

【Ⅰ類型】

① 各教科

ア 国語

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

イ 社会

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

ウ 数学

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を

育てる。

エ 理科

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

オ 音楽

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

カ 美術

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

キ 保健体育

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

ク 技術・家庭

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

ケ 外国語

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

② 道徳科

ア 生徒の障害による学習上または生活上の困難を改善・克服して強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。

イ 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にしながら経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるようにする。

③ 特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

④ 自立活動

個々の生徒の障害の特性や発達段階を的確に把握し、各生徒のニーズに応じた指導を通して、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。

③ 総合的な学習の時間

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

※ 生徒の障害の状態及び発達段階、特性等を十分考慮し、指導内容を工夫する。

【Ⅱ～Ⅳ類型】

① 各教科

ア 国語

- (ア) 簡単な話の内容を聞き取ることができるようにする。
- (イ) 身近に経験したことや自分の意見などを表現できるようにする。
- (ウ) 日常生活に必要な語句や文を読み書きすることができるようにする。

イ 社会

- (ア) 日常生活の中で必要ないろいろなきまりがあることを知り、それらを守ることができるようにする。
- (イ) 身近な公共施設や公共物を利用できるようにする。
- (ウ) 自分の住む地域の様子や社会の移り変わりに関心をもたせる。

ウ 数学

- (ア) 具体的な操作などの活動を通して、数量や図形などに関する初歩的なことに関心をもち、それらを区別できる能力と態度を育てる。
- (イ) 具体的な操作などの活動を通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる。
- (ウ) 身近にある物の数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深めそれらを扱う初歩的な能力と態度を育てる。
- (エ) 日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深めそれらを扱う能力と態度を育てる。

エ 理科

- (ア) 人の体、身近な生物の特徴や成長などに関心をもち、自然を大切にする態度を育てる。
- (イ) 日常生活に関係の深い自然の事物、現象についての興味を広げ、初歩的な事柄についての理解を図る。

オ 音楽

- (ア) 音楽活動を通して情緒の安定を図り、豊かな情操を育てる。
- (イ) 幅広い音楽活動を通して、音楽についての興味や関心を高める。
- (ウ) 幅広い音楽活動を通して、音楽についての興味・関心をもち、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

カ 美術

- (ア) 身近な材料や用具を使い、多様な造形活動を通して感覚経験を広げる。
- (イ) 絵をかいたり、作品をつくったり、飾ったりする活動を通して、表現することに親しみをもたせる。
- (ウ) 友達の作品や制作に関心をもたせる。

キ 保健体育

- (ア) 歩く、走るなどの基本的な運動を行い、健康の保持増進と体力の向上を図る。
- (イ) 各種の運動に親しむとともに運動を通してきまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動する態度を養う。
- (ウ) 自己の心身の発育・発達に関心をもたせ生活に必要なで基本的な事柄を理解させる。

ク 職業・家庭

- (ア) 家庭生活で自分の役割を知り、楽しい家庭づくりをするために協力する態度を育てる。
- (イ) 明るく豊かな職業生活や家庭生活が大切なことに気付くようにするとともに、知識と技能を身に付け、実践的な態度を育てる。

ケ 外国語（英語）

- (ア) あいさつや日常生活の中で見聞きする英語に慣れ、関心を育てる。
- (イ) 初歩的なコミュニケーション能力を身に付け、「聞く」や「話す」ことに親しむ態度を育てる。

② 各領域

ア 道徳科

- (ア) 生活上の困難を改善し、物事を正しく判断し、行動する態度を養う。
- (イ) 他人を思いやり、みんなで仲良く協力し合う心を育てる。
- (ウ) 生命あるものを大切にしようとする心を育てる。
- (エ) 働くことの良さを感じて、みんなのために働く態度を育てる。

イ 特別活動

- (ア) 望ましい集団活動を通して集団や社会の一員としてみんなと協力し、助けあう態度を育てる。
- (イ) 望ましい集団活動を通して集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。

ウ 自立活動

個々の生徒の障害の特性や発達段階を的確に把握し、各生徒のニーズに応じた指導を通して、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。

③ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- (ア) 日常生活を営むために必要な身近処理能力を身に付け、基本的な生活習慣の形成を図る。
- (イ) 集団生活に必要なマナーやきまりを理解し、社会生活に関わろうとする態度を育てる。

イ 生活単元学習

- (ア) 生徒の興味・関心、発達段階に応じて活動し、生活に必要な基本的な知識、技能、態度を養う。
- (イ) 生活に即した学習活動を通して集団の中で活動する喜びを味わうとともに、自ら集団に参加する態度を養う。
- (ウ) 生活課題達成のための単元を設定し、教科との関連をもたせ、学習の展開を図る。

ウ 作業学習

- (ア) 作業体験を通して、素材や原材料にふれる楽しさを味わい、情緒の安定と作業への興味・関心を広げ、意欲を高める。
- (イ) 自分の役割がわかり、みんなと協力する態度を育てる。
- (ウ) いろいろな作業を体験して働くことに関心をもち、基本的な働く態度を育てる。
- (エ) 道具や機械などの使い方がわかり、安全に取り扱う方法や態度を育てる。

④ 総合的な学習の時間

- ア 各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連づけ、生徒の興味・関心や発達段階等に基づき、豊かな体験の場（就業体験・国際理解・交流及び共同学習等）を設定し、主体的、創造的に取り組む態度と能力を養う。
- イ 他の学校や社会教育施設等との連携を図り、地域の伝統文化に親しむ態度を養う。
- ウ 外国の文化に興味・関心をもち言語に親しむ態度を養う。

(4) 生徒指導の重点

日常生活の基本的習慣を形成し、進んで集団に参加し、学校・家庭（施設）・地域・社会で生活する能力を養う。教育活動全体を通して、社会生活を送る上で必要な基本的マナーや道徳的判断力を身に付ける。

(5) 安全教育の重点

生命の尊さを知り、身体の安全、健康の保持増進に必要な知識・技能・態度を育成する。健康の保持増進を図るため、家庭・医療機関との連携を図り、発育・発達段階や疾病・障害の程度等を考慮した集団・個別指導の充実を図る。

(6) キャリア教育の重点

- ① 自己の役割を知り、他人との協調性を養う。
- ② 進路（進学、就労等）や将来の自己実現に必要な基礎的な知識や体力を身に付ける。
- ③ 就業体験及び教育活動全体を通し、将来の自立と社会参加に向けて必要な知識や関心を高める。

(7) 交流及び共同学習の重点

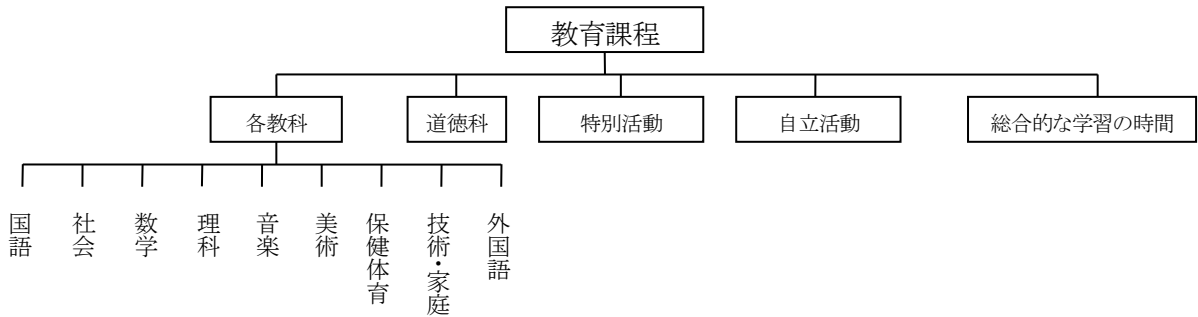
- ① 他校の生徒や地域の人々などと活動をともにする機会を設定し、学校生活をより豊かにする。
- ② 望ましい人間関係の向上を目指し、積極的に社会に参加する意欲を養う。

(8) 指導形態

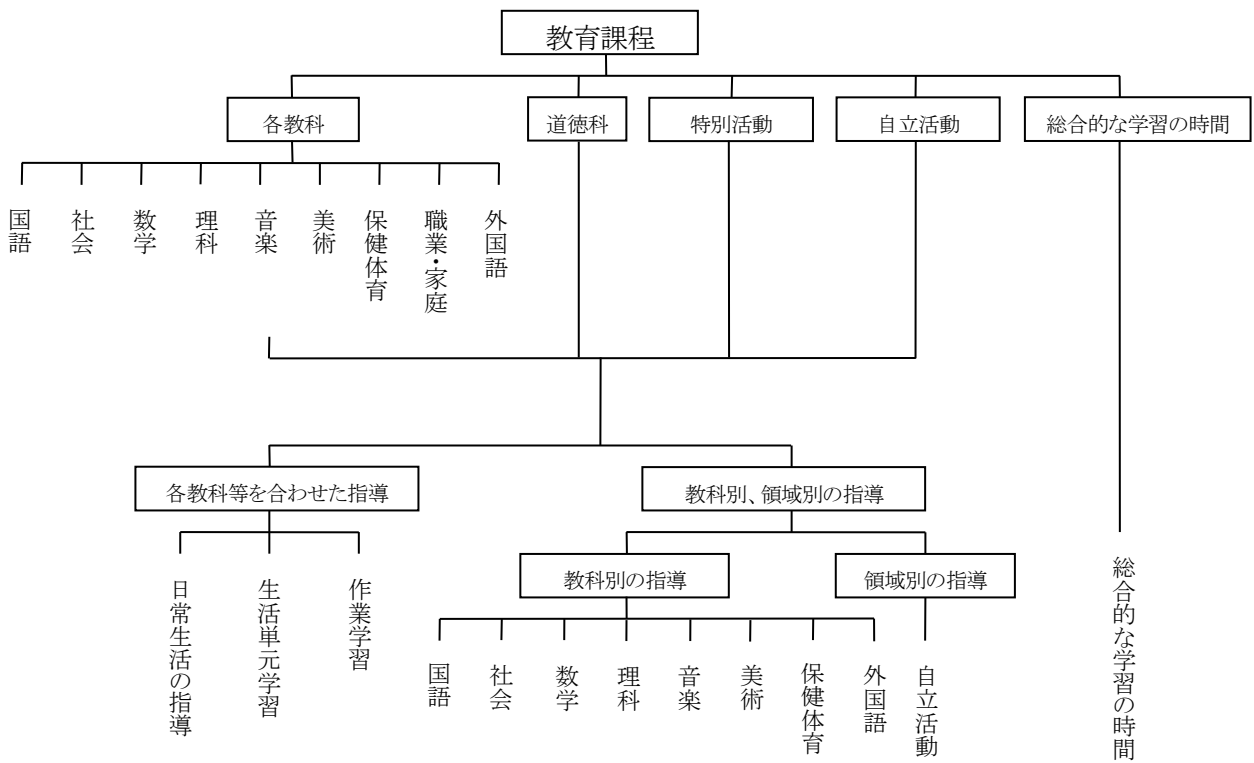
- ①Ⅰ類型 ア 生徒の実態に即した学習グループを編成して指導する。
- ②Ⅱ類型 ア 生徒の実態や発達段階に即した学習グループを編成して指導する。
- ③Ⅲ類型 ア 個別の指導を基本とし、小人数グループを編成し指導する。
イ 生徒の実態に即した「自立活動」を中心に指導するが、音楽的、美術的、体育的な要素を取り入れた学習も行う。
- ④Ⅳ類型 ア 生徒の実態に即した個別指導を主とし、心身の状態を考慮しながら行事や合同授業等のスクーリングを行う。
- ⑤各類型共通
ア 「総合的な学習の時間」の指導は学習の効果を考慮し、内容や班編成など弾力的に展開する。
イ 自立活動の指導は、学校の教育活動全体を通して行う「自立活動の指導」及び授業時間を設けて行う「自立活動の時間における指導」を実施する。「自立活動の時間における指導」は、生徒の実態やニーズ、発達段階等を踏まえた上で、個別指導または小集団等弾力的に編成し、指導を行う。
ウ Ⅱ類型以降の「道徳科」は特設せず学校の教育活動全体を通して指導する。

教育課程の構造図

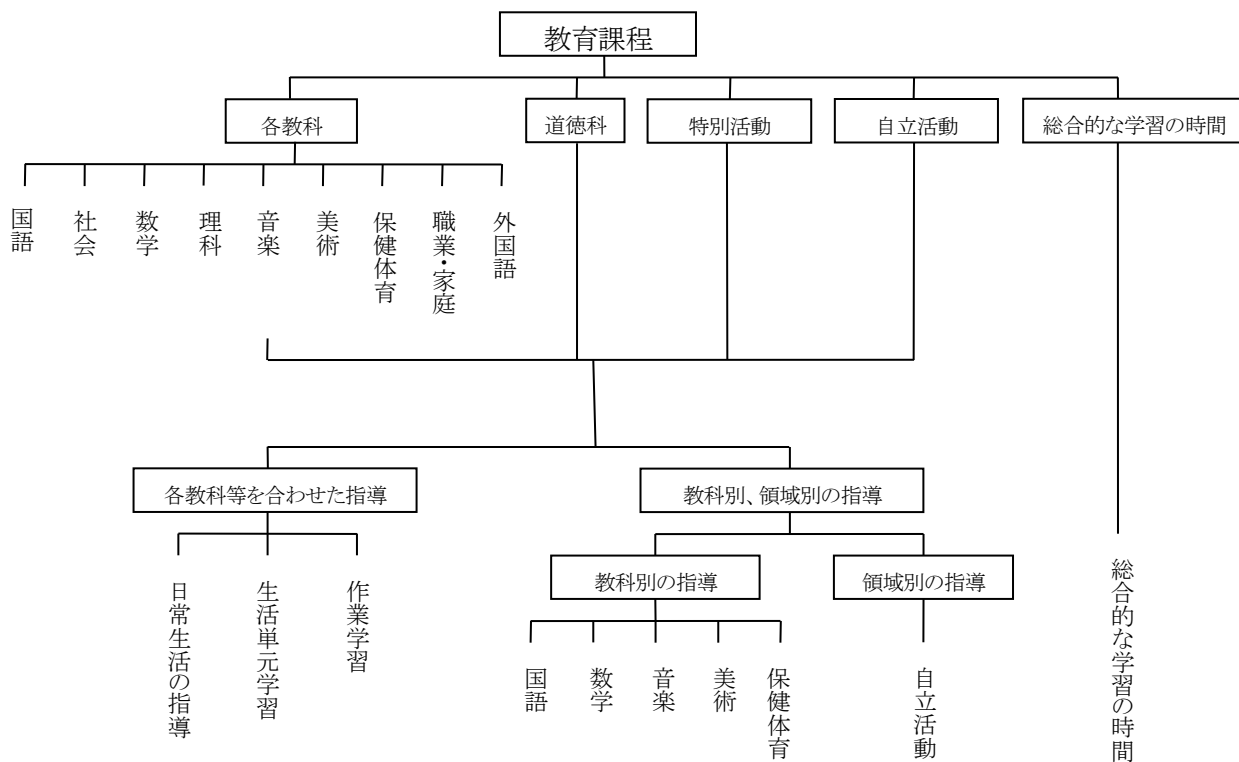
I 類型（準ずる教育） I 類型-2（下学年代替）



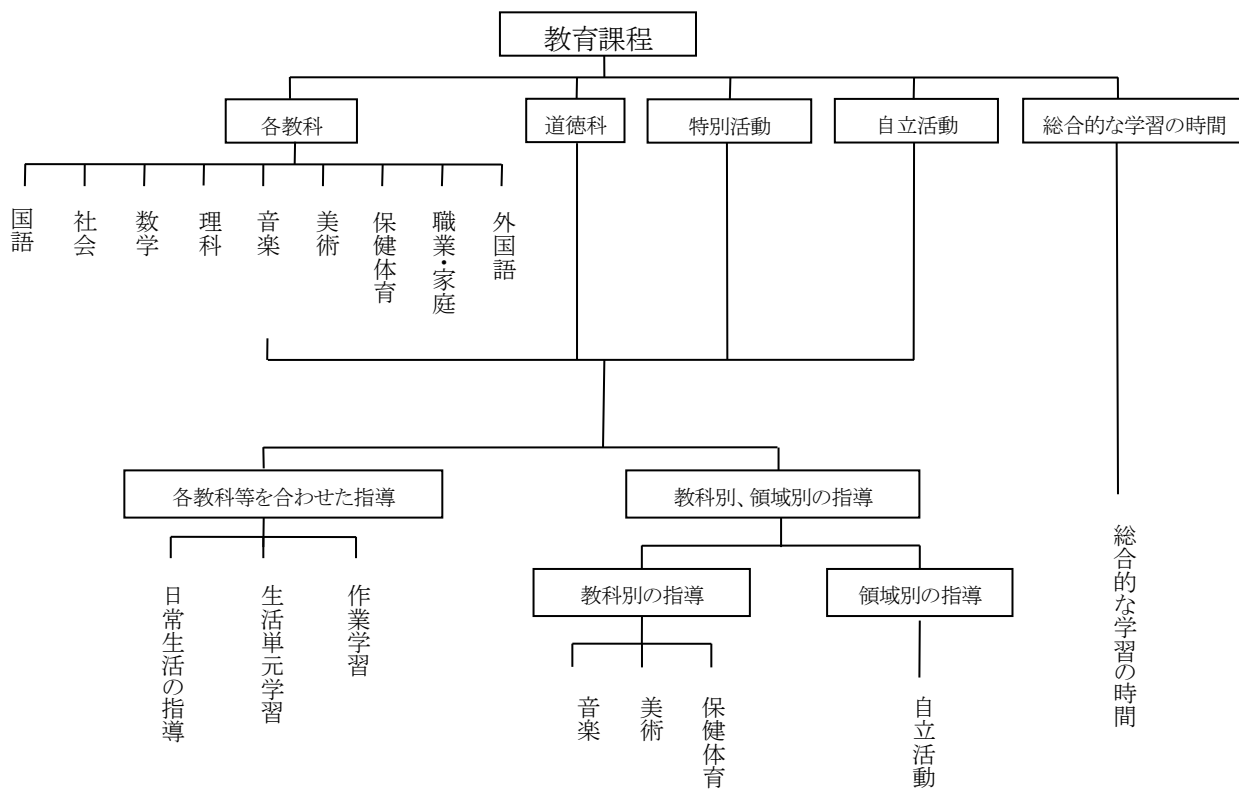
II 類型-1（知的代替）



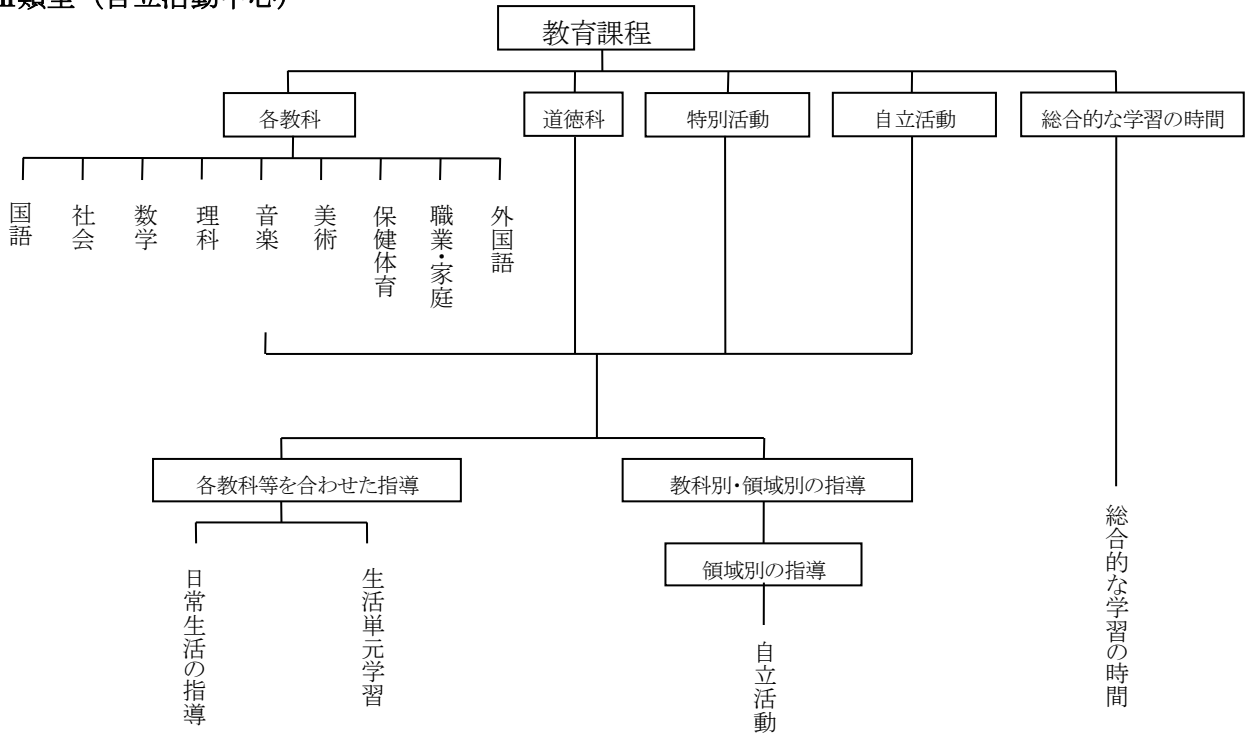
II 類型－2（知的代替）



II 類型－3（知的代替）



Ⅲ類型（自立活動中心）



Ⅳ類型（訪問教育）

